



薔薇の葬列

特別企画

シネラ映像祭

松本俊夫監督特集

昨年亡くなった実験映画の巨匠・松本俊夫監督の特集

通常上映

イラク映画特集

図書館収蔵のイラク映画の特集



少女ジャーン



キロメートル・ゼロ

松本俊夫監督特集

昨年亡くなった実験映画の巨匠・松本俊夫監督の特集

会期：6月13日(水)～6月24日(日) ※休館日・休映日除く

観覧料：600円(大人) 500円(大学生・高校生)
400円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。
(手帳や保険証などの提示が必要です。)

※「わの会」会員の方は300円。(会員証の提示が必要です。)

13(水) 14:00 / 24(日) 14:00

薔薇の葬列



美少年のエディはゲイバー「ジュネ」のナンバーワンで店の経営者である権田の愛人でもあった。ジュネのママで権田と同棲するレダはそれを知りエディを憎悪する。松本俊夫監督の劇映画デビュー作。ゲイボーイ、ヒッピー、学生運動、ハプニングなど当時の風俗を盛り込んだドキュメンタリー的な作品で大きな衝撃を与えた。キューブリックの「時計仕掛けのオレンジ」に影響を与えたとも言われている。
※15歳未満鑑賞不可。

監督：松本俊夫 出演：ピーター 土屋嘉男
1969年/35ミリ/モノクロ/104分/松本プロ=ATG

14(木) 11:00 / 23(土) 11:00

十六歳の戦争



有永甚はずなという16歳の少女と出会う。豊川はかつて東洋一の海軍大工廠があり、大空襲で多くの若者が死亡した街だった。あずなの家族に興味を持った有永甚はずはしばらく街に留まる。大空襲の慰霊祭を背景に男女の出会いを描いた作品。フォークシンガー下田逸郎の「陽の当たる翼」に載せて描いた映像詩。秋吉久美子の初主演作であり、瑞々しい魅力を放つ。73年の製作だが公開されたのは76年。

監督：松本俊夫 出演：下田逸郎 秋吉久美子
1973年/16ミリ/カラー/94分/サンオフィス

16(土) 11:00 / 21(木) 11:00

映像の発見—松本俊夫の時代 第I部 記録映画編



松本俊夫の活動の軌跡を記録したドキュメンタリー映画第I部。松本俊夫は青春期に映画と出会い、円谷プロと組んだ「銀輪」(1955)で監督デビューする。批評家として「記録映画」を創刊、テレビやラジオなどに活躍の場を広げていく。「母たち」(1967)でベネチア映画祭グランプリを受賞する。記録映画の作家として活躍した時代の記録。主なインタビューの登場人物は観世栄夫(能楽師)、佐々木守(脚本)等。

監督：筒井武文
2015年/デジタル/カラー/137分/プロダクション・バンブー

14(木) 14:00 / 23(土) 14:00

修羅



浪人・薩摩源五兵衛は芸者小万に熱をあげており、小万が身請けされると知り、主君の仇討に参加するために工面した100両の金を使って小万を身請けしてしまう。ところが小万には三五郎という亭主がいた。鶴屋南北の歌舞伎狂言「盟三五大切」をもとに松本俊夫が脚本化した作品。登場人物12人のうち9人が死ぬという壮絶な怨念のドラマである。
※15歳未満鑑賞不可。

監督：松本俊夫 出演：中村賀津雄 三条泰子
1971年/35ミリ/モノクロ/135分/松本プロ=ATG

13(水) 11:00 / 24(日) 11:00

ドグラ・マグラ



九州医科大学精神科の病棟で呉一郎が目覚ます。彼はすべての記憶を失っており、担任の若林教授によれば恐ろしい事件のショックが記憶喪失の原因だという。原作は夢野久作の同名小説。映画は狂気と記憶に関する物語であり、呉一郎と若林教授をめぐる推理とサスペンスに溢れる。堂々巡りのメビウスの輪のような錯覚をもたらす作品。若林教授を演じる桂枝雀が出色。

監督：松本俊夫 出演：桂枝雀 松田洋治
1988年/35ミリ/カラー/109分/活人堂シネマ=都市環境開発

16(土) 14:00 / 21(木) 14:00

映像の発見—松本俊夫の時代 第II部 拡張映画編



松本俊夫の活動の軌跡を記録したドキュメンタリー映画第II部。学生運動や映画祭粉砕などの激動の時代。松本俊夫は大阪万博においてエクスパンデッド・シネマ(拡張映画)に取り組み。批評集「映像の発見」の創刊により大きな反響を呼ぶ。また石堂淑朗や大島渚との論争などを記録する。主なインタビューの登場人物は西嶋憲生(映像研究者)、かわなかのぶひろ(映像作家)、金井勝(映像監督)等。

監督：筒井武文
2015年/デジタル/カラー/153分/プロダクション・バンブー

対談 「松本俊夫の時代」 17(日) 14:00~14:50



筒井 武文

(映画監督・東京藝術大学教授)

1957年三重県生まれ。東京造形大学在学中に習作「6と9」(1981)を手がける。助監督、フィルム編集者を経て自主制作映画「ゆめこの大冒険」(1986)を完成させ劇場公開する。その後「おかえり」(1996 篠崎誠監督)では製作と編集、「どこまでもいこう」(1999 塩田明彦監督)では編集を担当。監督作品に「オーバードライブ」(2004)「自由なファンシー」(2015)などがある。現在、東京藝術大学教授。

※対談は有料で15時からの「映像の発見—松本俊夫の時代 第IV部 実験映画編」とセット料金です。
※開場は開演の20分前。



伊藤 高志

(映像作家・九州産業大学教授)

1956年福岡市生まれ。九州芸術工科大学在学中に発表した「SPACY」(1981)が国内外の映画祭で絶賛され、80年代ニューウェーブの旗手と言われる。1995年クレルモンフェラン映画祭では「映画100年の100本」に選出される。一貫して超現実的な視覚世界や人間に内在する狂気・不条理を追求している。その他の主な作品は「THUNDER」(1982)「GRIM」(1985)「ZONE」(1996)「静かな一日・完全版」(2002, 2010)など。現在、九州産業大学教授。

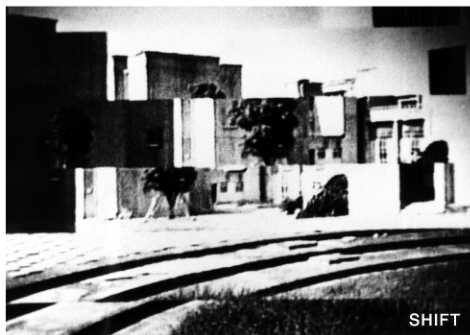
17(日) 11:00 / 22(金) 11:00

映像の発見—松本俊夫の時代 第III部 劇映画編



松本俊夫の活動の軌跡を記録したドキュメンタリー映画第III部。イタリアのネオレアリズモやフランスのヌーヴェルバーグに影響を受け、劇映画「薔薇の葬列」(1969)を監督。「修羅」(1971)「十六歳の戦争」(1973)「ドグラ・マグラ」(1988)へと続く劇映画の系譜をたどる。「ドグラ・マグラ」におけるカメラマン鈴木達夫との関係や脚本家・大和屋竺との確執などが記録される。主なインタビューの登場人物は中条省平(フランス文学者)、渡辺哲也(映画監督)等。

監督：筒井武文
2015年/デジタル/カラー/140分/プロダクション・バンブー



通常
上映

イラク映画特集

図書館収蔵のイラク映画の特集

会期：6月1日(金)～6月10日(日) ※休館日・休映日除く

観覧料：500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳や保険証などの提示が必要です。)

※「わの会」会員の方は250円。(会員証の提示が必要です。)

8(金) 11:00 / 9(土) 14:00

少女ジャーン *Life*

クルド人の町ハラブジャ。クルド系アメリカ人のディーヤリは孤児院を建てるためにハラブジャにやってくる。そして彼は顔にやけどをしたジャーンという少女に出会う。イラン・イラク戦争末期。フセイン政権はクルド人反政府勢力の掃討作戦を行った。ハラブジャへの攻撃は有名で、5千人以上の命が奪われた。本作は実際のハラブジャで撮影されており町の様子と犠牲者たちの姿を見ることができる。



監督：ジャノ・ロジェビアニー
出演：クルド・ガラーリ ピシング・ベルゼンジ
2002年/35ミリ/カラー/99分/イラク/日本語・英語字幕付き

2(土) 11:00 / 7(木) 14:00

砂塵を越えて *Crossing the Dust*

2003年。アメリカとの戦争が終結した直後のイラク。クルド人兵士アザドとラシードは食料の配送中、迷子になった5歳の少年を見つける。少年の親探しをする二人だが、誰も協力してくれない。米軍とフセイン政権の残党との局地戦が起きているイラクの様子が生々しく描かれる。様々な苦勞をしながら少年を助けようとする物語は監督の未来への希望を表している。



監督：シャウキット・A・コルキ
出演：アデル・アブドラフマン ホセイン・ハサン
2006年/35ミリ/カラー/76分/イラク/日本語・英語字幕付き

3(日) 14:00 / 6(水) 14:00
10(日) 14:00

国のない国旗 *A Flag Without a Country*

足を負傷したパイロットのナリマンは、難民キャンプの子供たちを集めて飛行機を組み立て、パイロットを養成しようとする。イラクに生まれ、アメリカで成功した歌手のヘリー・ラウは新曲の撮影に出演するキャンプの子供たちを探し、コンサートを開催しようとする。ナリマンとヘリー・ラウの二人は実際のクルド人であり、彼らの物語をドラマとドキュメンタリーを織り交ぜて作った作品。イスラム過激派組織ISISとの戦闘が始まっており、彼らと戦うクルド人達の現状、国を持たないクルド人の想いを圧倒的迫力で描いた作品。



監督：バフマン・ゴバディ
出演：ナリマン・アンワール ヘリー・ラウ
2015年/デジタル/カラー/92分/イラク/日本語・英語字幕付き



1(金) 14:00 / 9(土) 11:00

キロメートル・ゼロ *Kilometre Zero*

1988年、イラン・イラク戦争末期。クルド人の青年アコは軍に召集される。軍内部でのクルド人差別は激しくアコは前線に送り込まれる。ある日アコは仲間の兵士の死体を家族まで届ける任務を命じられる。アコは戦争にしかたなく参加しており、いつも逃げ出すことを考えている。イラク建国に際して強引に組み込まれたクルド人達の叫びのような作品。

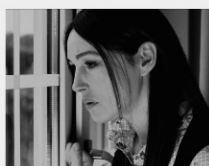


監督：ヒネル・サリーム
出演：ナズミー・キリク ベルソム・ビルギン
2005年/35ミリ/カラー/89分/イラク/日本語・英語字幕付き

2(土) 14:00 / 8(金) 14:00

サイの季節 *Rhino Season*

詩人のサヘルはイラン革命で反政府的とされ囚われの身となる。妻のミナは10年で釈放されるが、サヘルは30年に及ぶ拷問に耐えやっとなら釈放される。サヘルはミナの行方を追ってイスタンブールに向かう。クルド系イラン人の詩人サデク・カマンガルの日記に基づいた作品。詩的なイメージーションの作品。ミナをイタリアの大女優モニカ・ベルッチが演じる。



監督：バフマン・ゴバディ
出演：ベヘルズ・ヴォスギー モニカ・ベルッチ
2012年/デジタル/カラー/91分/トルコ=イラク
日本語字幕付き

3(日) 11:00 / 7(木) 11:00
10(日) 11:00

国境に生きる ～難民キャンプの小さな監督たち～ *Life on the Border*

2014年イラクとシリアにおいてイスラム過激派組織ISISとの戦闘が始まり数千人の難民が生まれた。本作は難民キャンプに暮らす子供たち8人に、彼らの今を映画化してもらったもの。プロデューサーはバフマン・ゴバディで彼のスタッフが子供たちと共に映画を制作した。子供たちが経験した現実が赤裸々に描かれている。



監督：ハゼム・ホダイデ、他
2015年/デジタル/カラー/73分/イラク/日本語字幕付き

17(日) 15:00 / 22(金) 14:00

映像の発見—松本俊夫の時代 第IV部 実験映画編

松本俊夫の活動の軌跡を記録したドキュメンタリー映画第IV部。映像の本質と可能性を追求した実験映画の流れを松本俊夫自らが解説。80年代に訪れた作品の変化、90年代以降の沈黙の意味が明かされる。2006年に川崎市市民ミュージアムで開催された「映像の変革」の関連企画展「眩暈の装置：松本俊夫をめぐるインターメディアの脈脈」でのインスタレーションも記録。主なインタビューの登場人物は川村健一郎(川崎市市民ミュージアム学芸員)等。



監督：筒井武文
2015年/デジタル/カラー/109分/プロダクション・バンブー

15(金) 14:00 / 20(水) 14:00

映像の発見—松本俊夫の時代 第V部 映画運動編

松本俊夫の活動の軌跡を記録したドキュメンタリー映画第V部。筒井武文監督が松本俊夫の書齋を訪れ、第1部から第4部までで語られてきたことに対する疑問を投げかける。芸術運動、映画批評、戦争責任、大島渚との論争、万博問題、共闘し別れた同志たち。松本俊夫の言葉は思考を吟味するように紡がれていく。そして2005年に発掘されたデビュー作「銀輪」について語る。



監督：筒井武文
2015年/デジタル/カラー/161分/プロダクション・バンブー

15(金) 11:00 / 20(水) 11:00

西陣 1961年/16ミリ/モノクロ/25分/松本俊夫

石の詩 1963年/16ミリ/モノクロ/24分/松本俊夫

モナ・リザ 1973年/16ミリ/カラー/3分/松本俊夫

アート・マン 1975年/16ミリ/カラー/12分/松本俊夫

SHIFT 1982年/16ミリ/カラー/9分/松本俊夫

エングラム(記憶痕跡)

1987年/16ミリ/カラー/12分/松本俊夫

記録映画でありながら、従来の記録映画の枠に収まらない「西陣」「石の詩」。松本俊夫の実験映画の代表作「モナ・リザ」「アート・マン」。大学教授として教鞭をとりながら製作した「SHIFT」「エングラム(記憶痕跡)」。常に先鋭的な映像表現を模索し続けた松本俊夫の短編映画集。

1 金		14:00 キロメートル・ゼロ
2 土	11:00 砂塵を越えて	14:00 サイの季節
3 日	11:00 国境に生きる	14:00 国のない国旗
4 月	休 館 日	
5 火	休 映 日	
6 水		14:00 国のない国旗
7 木	11:00 国境に生きる	14:00 砂塵を越えて
8 金	11:00 少女ジャーン	14:00 サイの季節
9 土	11:00 キロメートル・ゼロ	14:00 少女ジャーン
10 日	11:00 国境に生きる	14:00 国のない国旗
11 月	休 館 日	
12 火	休 映 日	
13 水	11:00 ドグラ・マグラ	14:00 薔薇の葬列
14 木	11:00 十六歳の戦争	14:00 修羅
15 金	11:00 西陣/石の詩/モナ・リザ 他	14:00 映像の発見—松本俊夫の時代 第V部
16 土	11:00 映像の発見—松本俊夫の時代 第I部	14:00 映像の発見—松本俊夫の時代 第II部
17 日	11:00 映像の発見—松本俊夫の時代 第III部	14:00 対談「松本俊夫の時代」
	15:00 映像の発見—松本俊夫の時代 第IV部	
18 月	休 館 日	
19 火	休 映 日	
20 水	11:00 西陣/石の詩/モナ・リザ 他	14:00 映像の発見—松本俊夫の時代 第V部
21 木	11:00 映像の発見—松本俊夫の時代 第I部	14:00 映像の発見—松本俊夫の時代 第II部
22 金	11:00 映像の発見—松本俊夫の時代 第III部	14:00 映像の発見—松本俊夫の時代 第IV部
23 土	11:00 十六歳の戦争	14:00 修羅
24 日	11:00 ドグラ・マグラ	14:00 薔薇の葬列
25 月	休 館 日	
26 火 ▶ 30 土	休 映 日	

松本俊夫監督について

1932年名古屋市生まれ。東京大学卒業後、新理研映画に入社、PR映画「銀輪」(1955)で監督デビューする。59年新理研映画を退社し、「記録映画」「映画批評」などの雑誌で理論家として活動しながら「安保条約」(1959)「西陣」(1961)などのドキュメンタリー映画を監督。68年に松本プロダクションを設立し、「薔薇の葬列」(1969)などの劇映画と並行しながら「アート・マン」(1975)などの実験映画を多数制作、実験映画やビデオアートを牽引する存在だった。80年九州芸術工科大学教授、85年京都芸術短期大学教授、91年京都造形芸術大学教授、1999年日本大学芸術学部教授に就任、後進の指導は熱心であり、影響を受けた映像作家は多い。2017年腸閉塞により死去。映像作家、監督としてだけでなく批評家、教育者として日本を代表する映画人の一人だった。



映像の発見—松本俊夫の時代 第I部

自主上映のお知らせ

5月26日(土)「探求」上映会

上映作品：「探求」(画文集「探求録」の映像化)
香椎小・福中・福高・東大と進んだ中尾武徳はいかに戦い、いかに生きようとしたか。

時 間：10時30分

料 金：無料

お問い合わせ：東保司 TEL090-4484-2956

5月27日(日) 福岡映画サークル協議会第3回例会

上映作品：「最高の花婿」(2014年/監督：フィリップ・ドゥーヴロン)
①11:00～ ②14:00～

料 金：一般 当日1,400円(前売り1,200円)
シニア 当日1,100円/中高生 当日800円
障がい者 当日1,000円

主 催：福岡映画サークル協議会 TEL092-781-2817

※詳細については直接主催者にお問い合わせください。

映像ホール利用申し込みについて

映像ホール・シネラは自主上映(非営利に限る)を希望される方について、

下記のとおり申し込みの受付を行います。

利用申し込み対象期間 2018年12月～2019年5月

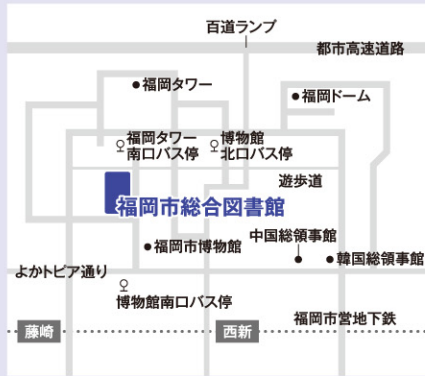
※別途配布の申込み用紙に対象日を記載しています。

申込み受付期間/2018年5月13日(日)～2018年6月1日(金)※休館日を除く

抽 選 日/2018年6月9日(土)午前11時より

抽 選 会 場/福岡市総合図書館3階 第6研究室

利用申込書/福岡市総合図書館で配布中の申込用紙をお出しく下さい。



交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【市営地下鉄】

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

【西鉄バス】

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分
○所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター[TEL.0570-00-1010]に直接お問い合わせください。

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館(代表):tel.092-852-0600 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com> 